

食品安全委員会が収集したハザードに関する主な情報

○化学物質—食品添加物

英国食品基準庁(FSA)、ハル・ヨーク医科大学が行ったアスパルテームに関する調査研究の結果を公表

公表日:2015年3月19日 情報源:英国食品基準庁(FSA)

<http://www.food.gov.uk/news-updates/news/2015/13719/aspartame-study-findings-published>

英国食品基準庁(FSA)は3月19日、ハル・ヨーク医科大学が行ったアスパルテームに関する調査研究の結果を公表した。概要は以下のとおり。

この調査研究は、過去にアスパルテームを含む食品を摂取して症状が出た人たちと、症状が出なかった人々を比較した。この調査研究は、査読付きのオープンアクセスジャーナル、PLOS ONE でも公表された。

この試験では、アスパルテームに対して感受性があると申告した人たちは、アスパルテームを含むシリアルバーを摂取した後の反応とアスパルテームを含まないシリアルバーを摂取した後の反応に差は見られなかった。この試験では、心理テスト、臨床観察、臨床生化学及びメタボローム解析(代謝過程で生成される低分子に関する科学研究)などの様々な項目を調べた。

この論文は、2013年12月に英国毒性委員会(COT)により査読が行われた。COTは、「この論文の結果からは、公衆衛生上の保護措置の必要性は示されなかった」と結論付けた。

アスパルテームは認可済みの食品添加物であることから、この試験は、アスパルテームの安全性の評価を目的としたものではない。

当該論文「アスパルテームに対して感受性があると申告した人々へのアスパルテームの影響対照集団と比較して:二重盲検ランダム化プラセボ対照試験」(217 ページ)は以下の URL から入手可能。

<http://www.food.gov.uk/sites/default/files/aspartame-final-report.pdf>

英国食品基準庁(FSA)、情報開示請求にもとづき、アスパルテームの安全性に関する情報に関して回答

公表日:2015年3月13日 情報源:英国食品基準庁(FSA)

<http://www.food.gov.uk/about-us/data-and-policies/foia/foirelease/information-released-under-the-freedom-of-information-act-and-environmental-information-regulations-in-2015/foi-aspartame-safety>

英国食品基準庁(FSA)は2月13日、情報開示請求に基づき、アスパルテームの安全性に関する情報に関して回答した。概要は以下のとおり。

1. 開示請求内容

- ・アスパルテームの安全性及びアスパルテームの安全性試験はヒトで行われたことを証明する資料。また、その試験の被験者の一部は、歯科用アマルガムを使用していたことや、アスパルテームを摂取する前に、例えば、免疫系及び解毒器官(肝臓及び腎臓)に負荷を与えるワクチンを接種されたことを証明する資料。
- ・世界で数か国(請求者の情報が正しければスウェーデンも含まれる)がアスパルテームを禁止した理由。

2. FSA の回答

- ・現在認可されている食品添加物は全て、食品に関する科学委員会(SCF)/欧州食品安全機関(EFSA)によって評価されている。認可は、添加物の化学的特性、製造工程、食品中の反応及び動態、必要性、提案される用途及び毒性学データを含む提出書類によって評価される。認可申請に必要とされるものは、EFSA のウェブサイトを確認できる。

・独立した専門委員会である英国毒性委員会(COT)は、1982年にアスパルテームの評価を行った。この年、アスパルテームが英国で初めて認可された。COTによる評価では、ヒトでの試験が多数考慮された。FSAは、公表済みの情報と異なる試験データは持ち合わせていない。

・アスパルテームの安全性については、国、欧州連合(EU)及び世界レベルで広範囲にわたり調査研究及び評価が行われてきた。それにもかかわらず、一部の消費者は、アスパルテームを使用した食品の摂取により健康を損ねたと信じている。2009年に、FSAはハル大学に、アスパルテームを摂取した後に有害な反応を経験したと申告する人たちに関して、何らかの反応を確認するための調査研究を委託した。この調査研究は終了し、ピアレビュー付きの科学誌への公表のために提出された。

・FSAはCOTに対して、その結果を検討するよう、また、主要な結論を公表するよう要請した。COTは、この結果では、公衆衛生上の保護措置が必要であることは示されなかったとしている。

・アスパルテームが他の国で禁止されているかについては、添加物に関する欧州議会及び理事会規則(EC) No1333/2008が欧州全28加盟国によって承認されており、アスパルテームはスウェーデンにおいても認可されている。FSAは欧州外の国の法令に関する情報を提供することはできない。

情報開示請求へのFSAの回答の詳細(2ページ)は以下のURLから入手可能。

<http://www.food.gov.uk/sites/default/files/foi-safety-aspartame.pdf>

COTのポジションペーパー(1ページ)は以下のURLから入手可能。

<http://cot.food.gov.uk/sites/default/files/cot/cotposponaspar.pdf>

○関連情報 (海外)

・欧州食品安全機関(EFSA)

1) 食品添加物としてのアスパルテーム(E 951)の再評価に関する科学的意見書を公表(2013年12月10日)

EFSAの「食品添加物及び食品に添加される栄養源に関する科学パネル」(ANS パネル)は、アスパルテームの現行の推定暴露量又は40mg/kg体重/日のADIにおいて、安全性の懸念はないと結論づけた。アスパルテーム及びその分解物のDKP(訳注:5-ベンジル-3,6-ジオキソ-2-ピペラジン酢酸)の現時点における推定暴露量は、それぞれのADIを下回った。アスパルテームのADIをフェニルケトン尿症患者に適用することはできない。

<http://www.efsa.europa.eu/en/efsajournal/doc/3496.pdf>

2) アスパルテームのファクトシートを公表(2013年12月10日)

<http://www.efsa.europa.eu/en/corporate/pub/factsheetaspartame.htm>

3) アスパルテームに関するFAQを更新(2013年12月10日)

<http://www.efsa.europa.eu/en/faqs/faqaspartame.htm>

○関連情報 (国内)

・厚生労働省 食品添加物として指定。L-フェニルアラニン化合物の表示義務。

※詳細情報及び他の情報については、食品安全総合情報システム (<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>) をご覧ください。